

Kivotos gravure

#05
Kisaki



『香の夜』
Night of Fragrance



ご苦労であったな、先生。



うああ!!
終わった!!

体が妙にだるいな…
やっぱり、かなり
無理してたのかもな。



これは山海経でも
そこそこの名のある茶じゃ。
そなたの口に
合えばよいのじゃが…。

おお! ありがとう、
いただくよ。

それにしても、
山海経の業務って
すごいな…。
これ、全部一人で
やるつもりだったのか?

ふふ… どうせそなたが
来てくれると
思っておったからの。

じゃが……
すべてを終えた今、
そなたのその顔……

実に、
興味深いのう。

ん？俺の顔が
どうかしたか？

そなたの内に秘められた想い……
その指先からも伝わってくる。
わらわの勘違いではあるまい？

手伝ってくれた礼として、
望むならば……
今ここで、
その心を解き放ってやろう。
どれほど深い
欲であろうと、構わぬ。

お前……
わざと……？

ふふ、そなたがそう感じたのなら、
わらわの意図は果たされたのじゃ。
それに……
そなたの瞳が、すでに答えを出しておった。

やめろ……
キサキ……

これ以上は先生として
一線を越えることになる

その線を越えろとは、
一言も言っておらぬ。

ただ……そなたが越えるのなら、
わらわは喜んで受け入れるのみ。

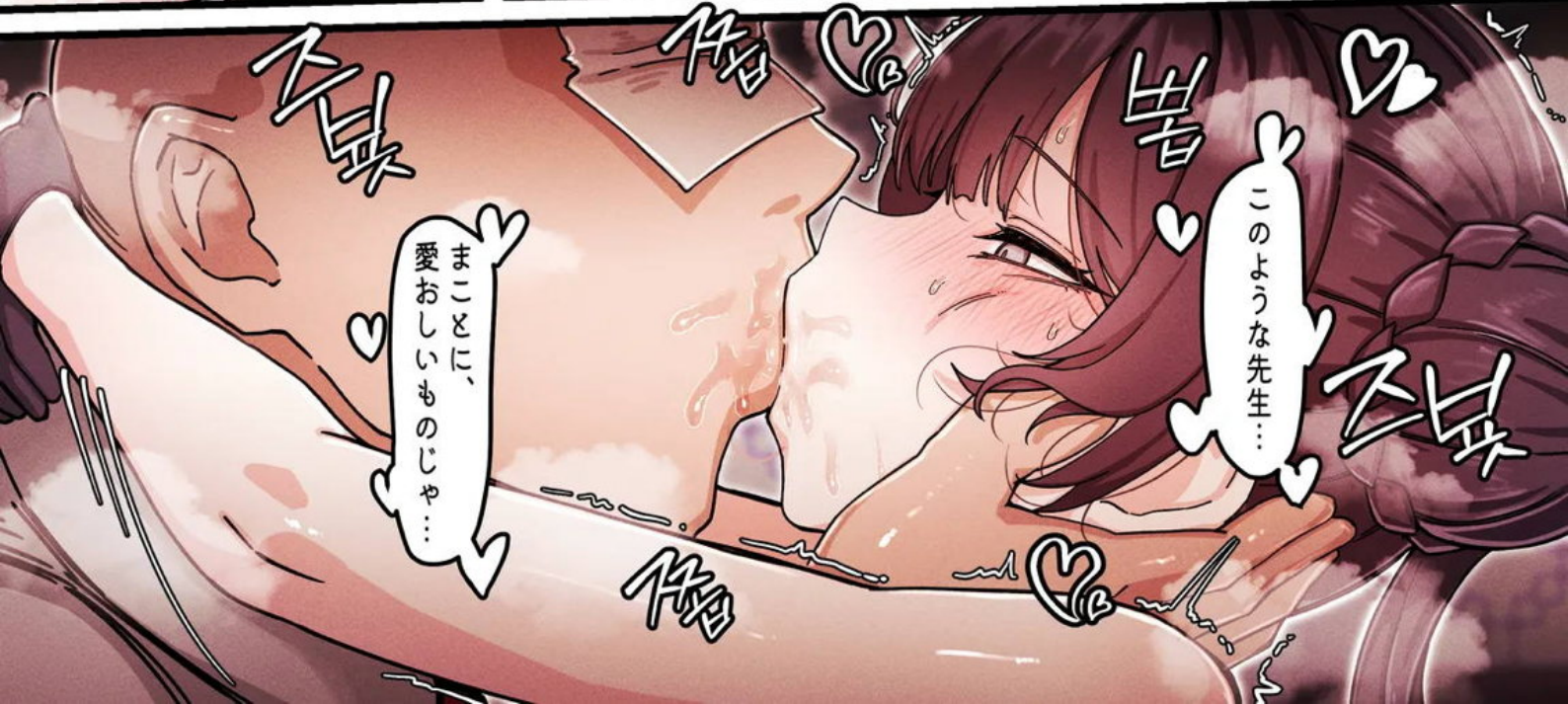
それに、拒むわりには……
下の方は随分と素直じゃの？

怖がることはない、
先生。

そなたが
望むのなら――

わらわは
すべてを受け止めよう。





こんなものを…
隠しておったのか、
先生。

もつと…もつと
深くまで来てよい。
今この瞬間の、
正直なそなたが…よい。









Okor Okor

TAKOK

하아

하아

하아

하아

하아

ついに：
素直なそなたと
向き合うことができて、
わらは嬉しいぞ。





<https://horori.fanbox.cc/>
<https://www.pixiv.net/users/13156030>

